

研究発表大会プログラム

口頭発表（釧路市観光国際交流センター 1階大ホール C）

1. 発表時間は12分間（質疑2分間を含む）です。8分後に第1鈴、10分後に第2鈴、12分後に第3鈴（最終鈴）が鳴ります。発表時間は交代に要する時間を含みます。
2. ○印は発表者です。発表者は会場に次の時刻までに発表用のファイルを持参下さい。
10月10日（土）：午前中の発表 当日の9:30まで、午後の発表 当日の13:00まで
10月11日（日）：午前中の発表 当日の9:10まで、午後の発表 当日の13:00まで

第1日 10月10日（土）

海況・漁況

座長：西田芳則（道総研函館水試）

01. 10:00-10:12 備讃瀬戸・播磨灘海域における形態別の窒素，リンの分布と季節変動
○高木秀蔵・岩本俊樹・林 浩志(岡山水研)・藤原建紀(いであ(株))
02. 10:12-10:24 黒潮親潮移行域における硝酸塩の等密度面輸送量の収支
○小松幸生（東大院新領域/大気海洋研）・廣江 豊（水研セ中央水研）・安田一郎（東大大気海洋研）・増島雅親（水研セ中央水研）
03. 10:24-10:36 気仙沼・舞根湾における鉄を中心とした物質の動態
○山本光夫（東大海洋アライアンス）・劉 丹（有明高専）・福島慶太郎・横山勝英（首都大都市環境）
04. 10:36-10:48 宮崎水試が提供する海況情報に対する漁業者の利用実態
○渡慶次 力・西口政治・齋藤友則（宮崎水試）・棧敷孝浩・田坂行男・清水勇吾（水研セ中央水研）
05. 10:48-11:00 海面高度から下層水温の推算と漁場探査への応用
○謝 旭暉（JAFIC）・友定 彰（元 JAFIC）

座長：東屋知範（水研セ北水研）

06. 11:00-11:12 ホタテ採苗の良否に関連するオホーツク沿岸域の海況
○西田芳則（道総研函館水試）
07. 11:12-11:24 FORA 再解析データによるアカイカ好適棲息域の年々変動
○五十嵐弘道（JAMSTEC/北大院水）・石川洋一・若松 剛・田中裕介・西川史朗（JAMSTEC）・西川 悠（JAMSTEC/学振）・蒲地政文・倉賀野 連・高槻 靖・碓氷典久・藤井陽介・豊田隆寛・広瀬

- 成章 (気象研)・酒井光夫 (水研セ東北水研)・齋藤誠一 (北大院水)・
今村 豊 (青森水総研)
08. 11:24-11:36 二次元回遊を考慮したサンマの地球温暖化影響評価
○伊藤進一・小松幸生 (東大大気海洋研)・高須賀明典 (水研セ中央
水研)・奥西 武 (水研セ東北水研)・吉江直樹 (愛媛大沿岸セ)・瀬
藤 聡 (水研セ中央水研)・亀田卓彦 (水研セ西海水研)・渡邊一功
(JAFIC)・黒田 寛 (水研セ北水研)
09. 11:36-11:48 道東沖サンマ漁場における海面水温の 20 年規模変動
○黒田 寛 (水研セ北水研/中央水研)・横内克巳 (水研セ北水研)
10. 11:48-12:00 三陸定置網アキサケ入網に関する海況条件の一知見
高橋浩二・中園博雄・○爲石日出生 (JAFIC)

12:00-13:30 **昼休み, ポスター立ち会い説明**

プランクトン

座長：小埜恒夫 (水研セ中央水研)

11. 13:30-13:42 北赤道海流域における動物プランクトン群集の構造および分布特性
○牧原 渉・恩田拓堯 (東大院新領域/大気海洋研)・竹茂愛吾 (東大
大気海洋研)・板倉 光・三宅陽一・木村伸吾 (東大院新領域/大気海
洋研)
12. 13:42-13:54 東経 138 度線上・黒潮流軸付近のプランクトン群集構造
○日高清隆・小埜恒夫・清水勇吾・廣江 豊・日下 彰 (水研セ中
央水研)・児玉武稔 (水研セ日水研)・平井惇也 (水研セ中央水研)・
市川忠史 (水産庁)
13. 13:54-14:06 サバ類産卵海域周辺の環境と動物プランクトン ～特にカイアシ類
とマイワシ・サバ類の卵仔魚について～
○寒川清佳・日高清隆・上村泰洋 (水研セ中央水研)・高橋正知 (水
研セ瀬水研)・高須賀明典・小埜恒夫 (水研セ中央水研)

卵稚仔・魚類・沿岸資源

14. 14:06-14:18 黒潮域に出現する仔稚魚の摂餌生態
○岡崎雄二・宮本洋臣 (水研セ東北水研)・日高清隆 (水研セ中央水
研)・齋藤宏明 (東大大気海洋研)・鈴木光次 (北大院地球環境)
15. 14:18-14:30 遊泳行動を考慮した数値実験によるニホンウナギ仔稚魚の回遊過程
に関する研究
○許 諧 (東大院新領域/大気海洋研)・竹茂愛吾 (東大大気海洋研)・
三宅陽一・木村伸吾 (東大院新領域/大気海洋研)

座長：岡崎雄二（水研セ東北水研）

16. 14:30-14:42 河川横断構造物がニホンウナギの河川内分布に与える影響
○板倉 光（東大院新領域/大気海洋研）・海部健三（中央大法）・木村伸吾（東大院新領域/大気海洋研）
17. 14:42-14:54 北海道厚岸ニシンの資源量変動に伴う産卵場・成育場の変化
○白藤徳夫（水研セ東北水研）・中川 亨・村上直人・伊藤 明・鬼塚年弘・横田高士（水研セ北水研）・武山 悟（厚岸湾ニシン資源育成協議会）・渡邊良朗（東大大気海洋研）
18. 14:54-15:06 北海道春ニシンの漁獲尾数変動
○村瀬偉紀（東大大気海洋研）・瀧谷明朗（道総研中央水試）・岩田容子・河村知彦・渡邊良朗（東大大気海洋研）
19. 15:06-15:18 日本・カリフォルニア・フンボルト海域のマイワシ漁獲量の同期性と海洋環境
○谷津明彦（水研セ北水研）・川端 淳（水産庁）
20. 15:18-15:30 耳石の酸素安定同位体比を用いたマイワシの稚魚期経験水温推定
○坂本達也（東大大気海洋研）・小松幸生（東大院新領域/大気海洋研）・白井厚太郎（東大大気海洋研）・上村泰洋・渡邊千夏子（水研セ中央水研）・川端 淳（水産庁）・瀬藤 聡・清水 学（水研セ中央水研）

座長：白藤徳夫（水研セ東北水研）

21. 15:30-15:42 マイワシの産卵誘導実験系と仔稚魚の育成
○松山倫也・田口伸剛・五十嵐修吾（九大院農）・田和篤史（水研セ国際水研）・米田道夫（水研セ瀬水研）・田中寛繁（水研セ北水研）・山口明彦・北野 載・長野直樹（九大院農）
22. 15:42-15:54 カタクチイワシの体サイズ・産卵経験に伴う繁殖投資戦略
○米田道夫（水研セ瀬水研）・片山知史（東北大院農）・河野悌昌（水研セ瀬水研）・山本昌幸（香川水試）・長谷川 淳（千葉水研セ）・津崎龍雄・山田徹生・太田健吾（水研セ瀬水研）
23. 15:54-16:06 備讃瀬戸におけるイカナゴ仔稚魚の成長履歴と豊度
○赤井紀子（香川水試）・斎藤真美（水土舎）・山本昌幸（香川水試）・深尾剛志（香川大瀬戸内研セ）・本田恵二（香川赤潮研）
24. 16:06-16:18 未成魚で放流した鹿児島湾産ブリの移動と成長
○宍道弘敏・田中耕治（鹿児島水技セ）・阪地英男（水研セ中央水研）・御宿昭彦（静岡水技伊豆）・梶 達也（高知水試）
25. 16:18-16:30 八重山海域におけるマダラハタの資源生態特性と漁獲実態
○太田 格・秋田雄一・上原匡人・海老沢明彦（沖縄水海技セ）

宇田賞受賞記念講演

16:45–17:45 沿岸域の物質循環と生物生産機構に関する研究
笠井亮秀（北大院水）

懇親会

18:00–20:00 釧路市観光国際交流センター 1階大ホールD

第2日 10月11日（日）

卵稚仔・魚類・沿岸資源

座長：米田道夫（水研セ瀬水研）

26. 09:30–09:42 スケトウダラの卵径と仔魚の耳石成長率との関係
○梶原慧太郎・鈴木孝太・田村純一（北大院水）・鹿野陽太（JICA）・高津哲也（北大院水）
27. 09:42–09:54 北海道日本海におけるスケトウダラの初期成長と生残
○千村昌之・田中寛繁・山下夕帆（水研セ北水研）
28. 09:54–10:06 餌生物との遭遇頻度がスケトウダラ仔魚の成長や生残に及ぼす影響
○横田高士・中川 亨・村上直人・田中寛繁・山下夕帆・千村昌之・船本鉄一郎（水研セ北水研）
29. 10:06–10:18 産卵期とその近傍の水温環境がスケトウダラの産卵特性に及ぼす影響
○田中寛繁・中川 亨・横田高士・村上直人・千村昌之・山下夕帆・船本鉄一郎（水研セ北水研）
30. 10:18–10:30 噴火湾におけるアカガレイ卵径の季節・年変動
○田村純一・鈴木孝太（北大院水）・中屋光裕（北大水）・梶原慧太郎・佐藤義崇・折野和樹・高津哲也（北大院水）

座長：板谷和彦（道総研釧路水試）

31. 10:30–10:42 アカガレイ仔稚魚の成長と耳石輪紋形成の関係
○中屋光裕（北大水）・鈴木孝太・高津哲也（北大院水）・城 幹昌・松田泰平（道総研栽培水試）
32. 10:42–10:54 函館湾周辺海域沿岸に生息するイシガレイ稚魚の成長と成育場環境
○佐藤義崇（北大院水）・中屋光裕（北大水）・浦杉朝子・高津哲也（北大院水）
33. 10:54–11:06 道北日本海～オホーツク海に分布するマガレイの稚魚成育場が異なる2つの海域に存在する意義
○城 幹昌・石田良太郎（道総研栽培水試）・佐藤敦一（道総研中央水試）・小林由紀・高津哲也（北大院水）・山口宏史（道総研稚内水

試)

34. 11:06–11:18 東日本大震災以降の岩手県海域におけるヒラメの資源動向
○後藤友明・高梨愛梨 (岩手水技セ)
35. 11:18–11:30 東京湾のマコガレイ産卵場における海底直上の酸素環境
○石井光廣・石槌賢一 (千葉水研セ)・浄土真佐実 (東京久栄)

座長：田中寛繁 (水研セ北水研)

36. 11:30–11:42 瀬戸内海中央部におけるメイタガレイの成長と食性
○山本昌幸 (香川水試)・片山知史 (東北大院農)
37. 11:42–11:54 二重網を活用したアサリ稚貝の保護・育成手法の検討
○崎山和昭・田村勇司・山田英俊 (大分水研)

11:54–13:30 **昼休み, ポスター立ち会い説明**

38. 13:30–13:42 3kg 未満の小型ミズダコが脱出可能な改良タコ籠の野外における有用性の検証
○長野晃輔 (北大院水)・山本 潤 (北大北方セ)・三浦太智 (青森水総研)・桜井泰憲 (北大院水)
39. 13:42–13:54 三河湾における貧酸素水塊と底生性水産資源の時空間分布
○曾根亮太・和久光靖 (愛知水試)・山田 智 (愛知県西三河農林水産事務所)・石田俊朗 (愛知水試)・鈴木輝明 (名城大院総)
40. 13:54–14:06 北海道南東沿岸域における底生魚類群集構造
○山村織生・小岡孝治 (水研セ北水研)

座長：山本昌幸 (香川水試)

41. 14:06–14:18 海底湧水が魚類群集, 生産に与える影響：地球温暖化のもとでオアシスとなりえるか？
秦 正樹・宇都宮達也 (広大院生物圏)・堀 正和 (水研セ瀬水研)・杉本 亮 (福井県大)・富山 毅・○小路 淳 (広大院生物圏)
42. 14:18–14:30 Atlantis を用いた沿岸域生態系モデルの構築
○竹茂愛吾・伊藤幸彦 (東大大気海洋研)・笠井亮秀 (北大院水)・尹 盛楽・木村伸吾 (東大院新領域/大気海洋研)
43. 14:30–14:42 音響手法を用いた宗谷岬周辺海域における海藻繁茂状況の把握
○板谷和彦 (道総研釧路水試)・佐野 稔 (道総研稚内水試)・邵 花梅 (北大院環境)・南 憲吏 (北大院水)・坂東忠男 (宗谷漁協)・宮下和士 (北大北方セ)

沖合資源・その他

44. 14:42–14:54 北海道東部海域におけるハダカイワシ科魚類の音響調査

○小出凜太郎・大島慎也（北大院水）・貞安一廣（水研セ開発セ）・
船本鉄一郎・田中寛繁（水研セ北水研）・安間洋樹（北大院水）

座長：岡本 俊（水研セ北水研）

45. 14:54-15:06 ビンナガの分布変化に対する地球環境変動の影響
○杉山いくみ（東大院新領域/大気海洋研）・岡本浩明（水研セ国際水研）・竹茂愛吾（東大大気海洋研）・三宅陽一・木村伸吾（東大院新領域/大気海洋研）
46. 15:06-15:18 局所的海洋環境変動に伴う水産重要魚類の回遊行動の変化
○羽根由里奈（東大院新領域/大気海洋研）・竹茂愛吾（東大大気海洋研）・三宅陽一・木村伸吾（東大院新領域/大気海洋研）
47. 15:18-15:30 流し網選択性パラメータを応用した魚種別現存量推定の試み
○米崎史郎（水研セ国際水研）・横田耕介（水研セ開発セ）・吉満友野・東海 正（海洋大）・清田雅史（水研セ国際水研）・加藤慶樹（水研セ東北水研）・若林敏江（水大校）・酒井光夫（水研セ東北水研）
48. 15:30-15:42 冷水性サンゴ類の生息地モデリングにおける最適空間解像度の検討
○宮本麻衣・清田雅史・村瀬弘人（水研セ国際水研）・中村武史（水大校）・林原 毅（水研セ国際水研）
49. 15:42-15:54 東北海域におけるマダラ加入量の予測可能性
○奥西 武・成松庸二（水研セ東北水研）・清水勇吾（水研セ中央水研）・服部 努・寛 茂穂・長谷川大介・大野創介（水研セ東北水研）

座長：米崎史郎（水研セ国際水研）

50. 15:54-16:06 卓越年級群の加入に伴う遺伝的多様性の低下
○丹羽洋智（水研セ中央水研）
51. 16:06-16:18 El Niño 2015 速報 - 2014 年～15 年にペルーで何が起こっているのか
○小林雅人（横浜商大）・Luis A. Icochea (UNALM) ・Gandy M. Rosales (SENAMHI)
52. 16:18-16:30 放流効果の向上を目指して
○伏見 浩（福山大内海研）・石川智士（地球研）・黒倉 壽（東大院農）・渡辺一生（地球研）
53. 16:30-16:42 所謂「ブリストル湾事件」の粗描
○三谷卓美（水研セ中央水研）

若手優秀講演賞表彰式

17:00-17:15

ポスター発表（釧路市観光国際交流センター 1階大ホール D）

ポスター掲示期間：10月10日（土）09:10–10月11日（日）15:00

発表者立ち会い説明：10月10日（土）12:30–13:30、11日（日）12:30–13:30

1. サイズ：A0サイズ（90cm×120cm）が貼り付け可能な縦型パネルと画鋏などを用意します。
2. 掲示：ポスターの掲示は10日（土）09:10から可能です。
3. 下記に指定された日時に立ち会い説明をお願いします（それ以外も可能です）。
奇数番号のポスター：10月10日（土）12:30–13:30
偶数番号のポスター：10月11日（日）12:30–13:30
4. 撤収は、11日（日）15:00までに各自でお願いします。これ以降に残されたポスターは、実行委員会で処分します。

P01 観測資料に基づく能登・佐渡沖合域の海洋環境の変動

○和川 拓・井桁庸介（水研セ日水研）・池田 怜（新潟水海研）

P02 A modeling study of the coastal circulation in a micro-tidal estuary

○尹 錫鎮・笠井亮秀（北大水）

P03 岩手県大槌湾における麻痺性貝毒原因藻類 *Alexandrium* 属シストの現存量分布

○松村俊吾・小松幸生（東大院新領域/大気海洋研）・田中 潔・齋藤 類（東大院新領域）

P04 2014年夏季伊万里湾における *Karenia* 赤潮の出現特性

○青木一弘・清水 学（水研セ中央水研）・山砥稔文・石田直也（長崎水試）・首藤俊雄・河口真弓（佐賀玄海水振セ）

P05 生態系モデルを用いた低気圧性渦における栄養塩と植物プランクトン動態

○加藤彩愛・植原量行（東海大海洋）・鋤柄千穂（名大）・笹井義一（JAMSTEC）

P06 初夏の道北沖日本海～オホーツク海における微小植物プランクトンの分布

○谷内由貴子・黒田 寛（水研セ北水研）・箕 茂穂（水研セ東北水研）・葛西広海（水研セ北水研）

P07 オホーツクタワーで観察されたホタテガイ幼生の出現時期と水温塩分

○片倉靖次・濱岡莊司（紋別市役所）・宮川 透（網走西部地区水産技術普及指導所）・川崎琢真・清水洋平（道総研栽培水試）

P08 海洋深層水を用いた動物プランクトンモニタリング

有馬大地（北大院水）・野別貴博（知床財団）・山石秀樹（羅臼町）・川南拓丸（岩内町）・○山口 篤（北大院水）

P09 2011～2013年の南西諸島周辺海域におけるクロマグロ仔魚の餌料環境

○亀田卓彦（水研セ西海水研）・鈴木伸明（水研セ国際水研）・森本晴之（水研セ日水）

研)

- P10 九州西方海域におけるクロマグロ稚魚の窒素安定同位体比
○小笠恒夫・増島雅親・岡崎 誠・杉崎宏哉（水研セ中央水研）・森永健司（水研セ国際水研）・市川忠史（水産庁）
- P11 北太平洋の海面水温変動と太平洋クロマグロの加入量変動
○小林安奈・植原量行（東海大海洋）・鈴木伸明・福田漠夫（水研セ国際水研）
- P12 温暖化に伴う水産資源への影響評価
○柴野良太・山中康裕（北大院環境）・重光雅仁（JAMSTEC）
- P13 地球温暖化に伴うブリ産卵場の変化
○瀬藤 聡（水研セ中央水研）・久野正博（三重水研）・黒田 寛（水研セ北水研/中央水研）・奥西 武（水研セ東北水研）
- P14 地球温暖化によりサンマ来遊時期がどのように変化するか
○渡邊一功（JAFIC）・伊藤進一・小松幸生（東大大気海洋研）・高須賀明典（水研セ中央水研）・奥西 武（水研セ東北水研）・吉江直樹（愛媛大沿岸セ）・瀬藤 聡（水研セ中央水研）・亀田卓彦（水研セ西海水研）・黒田 寛（水研セ北水研/中央水研）
- P15 道東太平洋岸におけるナガコンブ *Saccharina longissima* の変動機構の解明
○長谷川夏樹（水研セ増養殖研）・鬼塚年弘・東屋知範（水研セ北水研）
- P16 東シナ海底魚類の漁獲状況と音響反射の対応関係
○川内陽平・酒井 猛・青沼佳方・松沼瑞樹（水研セ西海水研）
- P17 宮城県志津川湾における定置網漁獲物組成の特徴
○金戸悠梨子・片山知史（東北大院農）
- P18 三陸沖陸棚上における前線の形成とミズダコ漁獲量変動の関係
○坪井真莉菜・金子 仁・伊藤幸彦・田中 潔（東大大気海洋研）・後藤友明（岩手水技セ）
- P19 マアジ卵の水温別発生所要時間の再検討と大分県沿岸における産卵量の推定
中尾拓貴・内海訓弘（大分水研）・○齊藤真美（水土舎）
- P20 日本海におけるブリ 0 歳魚の加入状況
○辻 俊宏（石川水総セ）・星野 昇（道総研中央水試）・池田 怜（新潟水海研）・上野陽一郎（京都農水技セ）・森脇和也（島根水技セ）・田 永軍（水研セ日水研）
- P21 大阪湾におけるカタクチイワシ資源量の推定
○山本圭吾（大阪環農水研）
- P22 スルメイカ資源のレジームシフトに対応した管理基準の検討
○岡本 俊・山下紀生（水研セ北水研）・清藤秀理・境 磨・井嶋浩貴（水研セ国際水研）
- P23 チューニング V P A を用いた宮崎県海域のアカアマダイの資源評価
○齋藤友則・中村充志（宮崎水試）・松石 隆（北大院水）

- P24 生態系ネットワークの修復・管理によるカレイ類資源回復の試み
○堀 正和（水研セ瀬水研）
- P25 道南津軽暖流域で採集されたヒレグロ浮遊仔魚
○鈴木孝太（北大院水）・中村広和・中屋光裕（北大水）・折野和樹・梶原慧太郎・佐藤義崇・高津哲也（北大院水）
- P26 安定同位体比分析を用いたマコガレイ稚魚期の生態系ネットワーク推定
○濱岡秀樹（水研セ瀬水研）・石井光廣（千葉水研セ）・堀 正和（水研セ瀬水研）
- P27 150 トン型水槽を用いたスケトウダラ着底期幼魚の魚礁性の検証
○鈴木聡志（北大水）・伊藤 靖（漁村総研）・山本 潤（北大北方セ）・桜井泰憲（北大院水）
- P28 日本海から太平洋へのスケトウダラ加入の可能性
○濱津友紀・船本鉄一郎・山下夕帆（水研セ北水研）
- P29 焼印再確認情報に基づいた北海道・ロシア間におけるトドの季節移動（予報）
○磯野岳臣（水研セ北水研）・Vladimir Burkanov（Russian Academy of Sciences; NMML,NOAA）・服部 薫（水研セ北水研）・後藤陽子（道総研稚内水試）・和田昭彦（道総研中央水試）・山村織生（水研セ北水研）